

SynergyMarketing

東北地方太平洋沖地震 復興のため クラウドサービスを無償提供

※無償利用に関するお問合せは随時承っております。(2011年11月21日付)

このたびの「東北地方太平洋沖地震」におきまして、犠牲になられた方々にご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災から8ヶ月が経過しました。被災地は今もなお、被害の爪あとを残し、多くの困難を抱える一方、復興の力強い動きが加速しています。シナジーマーケティングは情報の共有・配信の両面において現地の復興体制を支援すべく、2011年3月15日から、弊社の提供するクラウド型コミュニケーション・プラットフォーム『Synergy!』及び小規模店舗様向けのクラウド型ケータイ集客支援サービス『チョイモビ』を無償で提供させていただいております。現在も、無償利用に関するお問合せを随時承っておりますので、下記内容をご確認のうえ、お問合せください。

■無償提供の対象となるサービス

・クラウド型コミュニケーション・プラットフォーム『Synergy!』

Synergy!は、個人情報等のデータを統合管理し、その情報をもとにメール配信／WEBアンケート／問い合わせ管理／携帯サイト作成などのコミュニケーション活動を行うことができるクラウドサービスです。インターネットに接続できる環境とパソコンがあれば、どこからでも使用可能で、今回の震災による影響はなく、安全にご利用いただけます。

『Synergy!』の被災地での利用想定

- ・避難所における名簿の作成・管理・共有
- ・作成した名簿へのメール配信による情報提供
- ・携帯サイトによる最新情報の提供
- ・伝言やお問い合わせなどのWEB受付フォームの作成と内容の管理

・小規模店舗様向けのクラウド型ケータイ集客支援サービス『チョイモビ』

チョイモビは、携帯電話に向けて、“今必要とされているリアルタイムな情報”を発信するツールです。携帯サイトの作成から、携帯向けのメールマガジンの配信、さらにはメールマガジン登録者の情報の管理に至るまで、パソコンに詳しくない方でも、カンタンな操作で、被災した方々への情報発信が可能です。

『チョイモビ』の被災地での利用想定

- ・携帯サイトに新着情報やリンク集を掲載
- ・携帯メールによる一斉情報発信
- ・Twitterとの連携によるリアルタイムな情報伝達

SynergyMarketing

■無償提供の対象となるアプリケーション

・Synergy!(BASIC、POEM、ブランクメールオプション(5アドレス))

※弊社にて通常よく利用されるデータベース項目の設定を完了した状態でご提供いたします。Synergy!の他の機能の利用をご要望される場合は、個別にご相談ください。

・チョイモビ

上記のいずれかをご利用いただけます。

■無償提供の対象

東北地方太平洋沖地震で被災された方々などに向けて必要な情報を発信する自治体、NGO・NPO団体、教育機関。

※現地での活動を行うもしくはそれを支援する団体に限定させていただきます。

■無償提供の期間

当初、無償提供の期間は、2011年9月30日(金)までとさせていただいておりましたが、引き続き無償利用に関するお問合せを承っております。詳しくはお問い合わせください。

■無償提供の申込方法

・電話の場合 : 06-4797-2500 「震災支援プロジェクト」係までご連絡ください。

・メールの場合 : 下記の「必要項目」をご記入のうえ、hope@synergy101.jp までお送りください。

<必要項目>(※)は必須項目です

・自治体・団体・教育機関名(※)

・自治体・団体・教育機関URL

・申込者ご氏名(※)

・PCメールアドレス(※)

・電話番号(※)

(サービス提供のご案内等は原則としてメールを利用しての手続きとなりますが、念のため電話の連絡先もご記載ください)

◆セールスフォース・ドットコム社においても、東北地方太平洋沖地震 復興のため、同社のSalesforceフル機能1,000ライセンスを90日間無償提供しています。

<http://www.salesforce.com/jp/prayforjapan/>

Salesforceで管理可能な業務は以下の通りです。

・お問合せ管理データベース

・避難所管理データベース

・家屋被害調査データベース

・義捐金管理データベース

・その他様々な情報共有データベース